

報道関係各位 -ニュースレター-

**ロボットトラクター・自律走行型ロボット・レーザー搭載鳥獣害対策ドローンなど
九州 農業 WEEK にて「未来の農機 実演&モデル展示」5/27～開催
～ 中山間地域で活躍する農業ロボットの最前線 ～**



RX Japan 合同会社（本社：東京都中央区、代表執行役員社長：田中 岳志）は、2026年5月27日（水）～29日（金）の3日間、グランメッセ熊本にて「第4回九州 農業 WEEK」を開催いたします。本展では、特別企画として「**未来の農機 実演&モデル展示&プレゼンテーション**」を実施いたします。

■ **日本を代表する未来の農機、スマート技術が一堂に集結**

日本の農業業界は、農業者の高齢化・労働力不足が進み、従来の生産方式のままでは持続的な発展や食料の安定供給が困難な状況にあり、労働生産性の高い農業構造への転換が求められています。

この喫緊の課題に対し、政府はスマート農業を国家戦略の柱と位置づけ、強力な支援を本格始動させており、2026年度は、「スマート技術の導入を支援するプログラム」や「技術開発を加速させる」など、スマート農業関係予算は、前年度を上回る約300億円と確定*。生産者の最先端技術の導入や農業支援サービスの育成が強気にバックアップされています。

スマート農業の社会実装が本格化する中、本展「**未来の農機 実演&モデル展示**」では、北海道大学 理事・副学長 野口伸氏監修のもと、ロボットトラクターや自律走行型農薬散布ロボット、国内初レーザー搭載の鳥獣害対策専用ドローンといった、日本を代表する農機企業の「未来の農機」が一堂に集結します。

併せて、**小規模農地・急傾斜地**といった九州の中山間地で活躍する、**コンパクト・傾斜に強い・小回りが利く最新農機も多数登場**。中山間地における農業に関するプレゼンテーションも実施します。

*参照：農林水産省：スマート農業をめぐる情勢について（2026年4月）

■ 未来の農機 モデル展示製品 <一部抜粋>

自動抑草ロボット アイガモロボ



独自のブラシ機構で航行しながら、土をかき上げて水をにがらせることで、雑草の光合成を阻害し生育を抑制する。また、かき上げた土がやわらかい土の層を形成し、雑草種子を埋没することでも抑草効果を発揮。①自動航行 ②再生可能エネルギー駆動 ③シンプル管理 ④株間も抑草の4つが特長。

[出展社：(株)ISEKI Japan/(株)NEWGREEN]

ロボットトラクタ YT5114R



トラクターに乗車せず、近距離監視のもとで耕うんなどの作業を行うロボットトラクター。タブレットで生成した経路に沿って RTK-GNSS（リアルタイムキネマティック）技術による高精度な自動走行が可能。レーザーや超音波で人や障害物を計測・察知する安全センサーを設置。[出展社：ヤンマーアグリ(株)]

小型ロボット KATR



独自の脚輪構造及び油圧制御により、コンパクトサイズでありながら、高い不整地走行性能及び傾斜地走行性能を有している。現在は研究フェーズであるためレバー操作及びラジコン操作に留まっていますが、CAN でコマンドを受け入れるオープンプラットフォーム仕様となっており、無人ロボットにすることが可能。

[出展社：(株)クボタ]

ドローン BB102



国内初のレーザー搭載・鳥獣害対策専用ドローン。

鳥インフルエンザや豚熱などの防疫課題、イノシシ・シカ・カラスなどによる農作物被害といった深刻な社会課題に対し、“空からのレーザー防除”という新たなアプローチで解決を目指す。

[出展社：(株)NTT e-Drone Technology]

★モデル展示の詳細はこちら >> <https://www.jagri-global.jp/hub/ja-jp/visit/event-k02.html>

■ 未来の農機 実演・走行タイムスケジュール

会期中は、「未来の農機」の実演イベントも開催します。

5/27 (水)

午前の部

10:00～10:25 ヤンマーアグリ(株)
10:30～10:55 農研機構
11:00～11:25 (株)クボタ
11:30～11:55 (株)レグミン

午後の部

14:00～14:25 ヤンマーアグリ(株)
14:30～14:55 農研機構
15:00～15:25 (株)クボタ
15:30～15:55 (株)レグミン

5/28 (木)

午前の部

10:00～10:25 農研機構
10:30～10:55 (株)クボタ
11:00～11:25 (株)レグミン
11:30～11:55 ヤンマーアグリ(株)

午後の部

14:00～14:25 農研機構
14:30～14:55 (株)クボタ
15:00～15:25 (株)レグミン
15:30～15:55 ヤンマーアグリ(株)

5/29 (金)

午前の部

10:00～10:25 (株)クボタ
10:30～10:55 (株)レグミン
11:00～11:25 ヤンマーアグリ(株)
11:30～11:55 農研機構

午後の部

14:00～14:25 (株)クボタ
14:30～14:55 (株)レグミン
15:00～15:25 ヤンマーアグリ(株)
15:30～15:55 農研機構



※イメージ画像

■ 参画企業によるプレゼンテーション・パネルディスカッション <一部抜粋>

参画企業によるプレゼンテーション、パネルディスカッションを実施します。加えて、プログラム終了後には交流会を予定しています。

日時：2026年5月28日（木）9:30～16:00



【ファシリテーター】

北海道大学 理事・副学長

野口 伸 氏

テーマ：人と協働し省力化・軽作業化を実現する農業用追従ロボットの社会実装



国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構），
農業機械研究部門機械化体系研究領域・研究領域長

深山 大介 氏



テーマ：中山間農業を支えるクボタのスマート農業の取り組み



（株）クボタ, 技術開発推進部技術連携チーム・理事

越智 竜児 氏



■ 開催概要

第4回九州農業 WEEK (通称 : J-AGRI KYUSHU)

会期 : 2026年5月27日(水)～29日(金) 9:00 - 16:00

会場 : グランメッセ熊本

主催 : RX Japan 合同会社

構成展 : 農業資材 EXPO / スマート農業 EXPO / 畜産資材 EXPO / 次世代 農業経営 EXPO

特別イベント : 未来の農機フォーラム 2026～中山間地域で活躍する農業ロボット最前線～ /

施設園芸フォーラム / 畜産フォーラム /

ファームデザイン&ディベロップメント (FDD) フォーラム /

農業経営イノベーションフォーラム～「企業参入と地域創生」「生産拡大・輸出」「外国人材活用」～

WEB : <https://www.jagri-global.jp/hub/ja-jp.html>

来場に関する詳細はこちら >> <https://www.jagri-global.jp/hub/ja-jp/lp/vis/kyushu/jagri-pc.html>

取材のご案内 (事前申込制)

◆取材のお申し込みはこちら

<https://www.jagri-global.jp/hub/ja-jp/press.html>

——— お気軽にご相談ください ———

- ・ご希望に応じて、事前に取材対象やテーマのご相談も承ります。
- ・会期前日(5月26日)の取材についても、事務局側でスケジュール調整が可能な場合がございます。
- ・取材内容 : 会場撮影、出展社ブース取材、来場者へのインタビュー、主催者コメント など

【会社概要】

社名 : RX Japan 合同会社

本社所在地 : 東京都中央区八重洲 2-2-1 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー11階

代表執行役員社長 : 田中 岳志

事業内容 :

- 東京/幕張/横浜/名古屋/大阪/神戸/福岡/熊本などで年間38分野109本の展示会を開催(2026年)
- 日本企業の海外展示会への出展サポート (RX ISG)

設立 : 1986年8月

HP : <https://www.rxjapan.jp/>

<報道関係者の方からのお問い合わせ先>

九州農業 WEEK 事務局 広報担当

TEL : 03-6739-4111 MAIL : jagri.jp@rxglobal.com